



題字・中牟田栄蔵氏、絵・田代貞枝氏

22号

西南学院大学女子同窓会
(西南ゆりの会) 機関誌
2015年4月1日発行
発行人 藤井千佐子
福岡市早良区西新 6-2-92
西南学院大学同窓会内
TEL 092-831-7048

K・J・シャフナー新学長に聞く

「おにぎりではなく チヨウウになって」

西南学院大学の第10代学長に2014年12月、K・J・シャフナー氏が就任されました。全国的にも数少ない女性学長とあって注目度、期待度ともに高い新学長に西南学院大学女子同窓会（西南ゆりの会）の藤井千佐子会長がインタビューしました。この中で学長は「おにぎりではなくチヨウウになって」と約3万6000人の女子同窓生に力強いメッセージを送ってくれました。



2016年に創立100周年を迎える西南学院。シャフナー学長は「創立者C・K・ドージャー先生は西南学院建学の目的を『奉仕（貢献）できる若者を育てるために』と語っています。今こそ、この原点を学生や教職員全員で再確認することが必要で、そのことが

『地域や国際社会に奉仕する創造的な人材育成』という目指すべき大学の姿につながると思う」と穏やかな語り口ながら、約8000人が学ぶ大学のさらなる飛躍を誓っていました。

女子同窓生の経験を伝えて

現在、女子学生が約6割を占めている中で、西南ゆりの会への学長の期待も大きく「男女共同参画とは言いながら就職活動で苦労する女子学生は多い。ゆりの会と大学キャリアセンター共催の就職支援セミナー（今年は5月25日開催予定）に参加した私のゼミ生が『とても励みになった』と感激していた。さまざまな分野で活躍している先輩の話を実際に聞けることは大変良い機会になると思うので、仕事の経験などいろいろな場面で学生に伝えてほしい」と要望。さらに大学の女性教職員を増やすことやそのキャリアアップにも強い関心を示され「大学として何が必要で、何ができるかなど女子同窓生の意見を聞かせてほしいし、力を借りたい」と強調されました。

内面から変わって飛び立つ

教会活動を通して子どもたちから海外に関心があったという学長は、アフリカ・ガーナで短期宣教師として活動するなどした後、1987年に西南学院大学へ。これまでの間、教授などとしてだけでなくハンドベルクワイアの指揮者として多くの女子学生、卒業生

K. J. シャフナー学長の略歴

1952年生まれ。82年、米国サウスウェスタン・バプテスト神学大学院修士課程修了。87年、西南学院大学文学部講師に。同大国際文化学部教授などを経て2014年12月から現職。同大初の女性学長。趣味はハンドベルとパッチワーク。



学長室に掲げられた「西南よ 基督に忠実なれ」の額の前で。右は藤井千佐子・西南ゆりの会会長

114,7面に関連記事

と接してきて期待することは「おにぎりではなくチヨウウになってほしい」ということ。聖書の一節を引用しながら「おにぎりは型にはめられているのに対して、チヨウウはさなぎから変身して羽ばたくでしょう。外見の美ではなく、自分自身が内面から変わっていくことによって、羽を広げて飛び立つことができるのです。そしてその姿が自由で美しいのです」と述べられました。

● 感動とおもてなしで故郷を元気に

昨年5月の第30回飯塚国際車いすテニス大会は、日本人選手の男女シングルス優勝という最高の結果で終わることができました。大学時代にテニスをしていた縁で30年前に障害者の方々と出会い、大会運営にかかわってきました。選手たちを通して目標を持った人間の強さを目の当たりにし、少しの可能性があったら不可能なんてないと感じています。大会会長として延べ2,000人の市民ボランティアによる「イツカ方式」と呼ばれる運営方式で、これからも夢と感動を発信する世界大会として継続していきたいと考えています。



まえだ えり
前田 恵理さん
(77期 商経)
福岡県飯塚市在住

そして世界中の選手からももらった元気は、私自身の会社経営（㈱ニッツー代表取締役）の原動力にもなっています。「高齢者も障害者も、子育ての人もみんなが安心して暮らせるためのサポートをしたい」と、主にLPガス販売を手掛ける私の会社が目指すのは、地元密着の「快適生活応援団」です。「感動と感謝」「安心と安全」は人を幸せにします。車いすテニス大会と会社を通して地域に貢献していきたいと思

います。



ひろば

OGに大学時代の仕事、活動など

● “複眼” 児童とともに

「中山先生、おはようございます」と、今朝も1年生が教室に入って来ました。「さむ〜い!」と、言ってハグしてくる子もいます。今日の算数は、色と形のパターン。理科は、温度の勉強です。日本語

イメージプログラム(JIP)は、日本語を教えるのではなく、日本語で教科を教えます。子どもたちは、日本語にどっぷりとつかって、教科内容を学ぶ過程で日本語も身に付けていきます。

西南学院大学の仏専でフランス語とフランス文化の豊かさを学びました。教師になりバンコク日本人学校へ。そこでの素晴らしい3年間は、私の人生に国際理解教育という指針を与えてくれました。91年に米国に派遣。勤務の傍らバイリンガル教育の修士を取り、さらにJIPに夢中になりました。子どもたちは、スポンジの様に日本語と文化を吸収していきます。この子たちの強みは、異文化の中で育った人々の考え方、感情表現に違いがあって当たり前と思っていること。私は、彼らをこっそり“複眼”児童と呼んでいます。



なかやま なほこ
中山 菜穂子さん
(77期 外仏)
米国
バージニア州
レストン在住

子どもたちは歌とダンスで、ひらがなを覚えます。1年生の1日目から日本語だけで授業をします。

● 学芸員として地域とつながる今

薩摩伝承館という鹿児島の歴史と文化を紹介する美術館で学芸員をしています。鹿児島県指宿市にあり、国内でも数少ない、旅館（指宿白水館）が経営する美術館です。学芸員としてのキャリアは20年になりますが、ここには10年前に入社して美術館建設全般に関わり、2008年にオープンにこぎつけました。

学芸員の基本的な使命は文化財の管理、保存、展示公開ですが、日本陶磁史を中心に、伝統工芸品と風土の結びつき、技の継承についても調査研究をしています。

昨年は「大名茶の時代 薩摩と九州山口の茶陶」展を企画し、最新の研究成果をもとに中央政権と密接に結びつく茶陶の姿を紹介しました。借用交渉から運搬、実施まで展覧会には苦勞が多いのですが、最もやりがいがあり、信頼の大切さと感謝を実感する場です。西南学院大学での日々は学芸員という道への志を育んだ今の私の原点です。

歴史や文化の中には現代社会に生かすことのできる経験や蓄積が数多くあります。そんな輝きでもいうべきものを、これからも発信していきたいと考えています。



ふかみなと きょうこ
深港 恭子さん
(92期 国際)
鹿児島県在住



薩摩伝承館

● 多国籍の方々と社会貢献活動を

私は米国・ペンシルベニア大学大学院で出会ったフランス人の夫と2人の子どもと共に1979年、パリから香港に移り住みました。さらに2人の子どもに恵まれ、子育ての傍ら幾つかのチャリティ活動にボランティアとしてかかわりました。香港フィルを支援するレディズ・コミティでは、会長を3期務め、募金活動を通して同フィルの海外ツアーなどを支えました。また、昨年17回を迎えた北京国際音楽祭では、創立者マエストロ・ユロン氏の依頼を受け、初年度から支援参加。現在は国際アドバイザー・ボードの一員です。その他にも香港芸術館「友の会」ボードの一員として今年で11年目になります。



まつい たえこ
松井 妙子さん
(72期 文英)
香港在住

このように海外で多国籍の方々と共に有意義な社会貢献活動ができますのも、西南学院大学国際交流第一期生として、ニューヨーク州立大での留学体験があったおかげです。私の人生を変える大きな飛躍の第一歩でした。感謝の意を込めて、2016年の西南学院創立100周年を心からお祝い申し上げます。



● 深い感謝とともに



まつむら ゆりこ
松村 由利子さん
(83期 文英)
沖縄県石垣市在住

卒業して大学院に進学した私は、シェイクスピアの魅力に惹かれつつも、中退して朝日新聞の校閲専門記者になる道を選びました。そして2年ほど勤めた後、「外勤記者になりたい」と考え、毎日新聞社を受験して取材現場に飛び出したのでした。

その後、生活家庭部、科学環境部などで、さまざまな分野の取材ができたことは大きな幸運でした。科学環境部では「ネイチャー」「サイエンス」といった専門誌を読むのも仕事でした

から、西南学院大学で培った英語力に随分と助けられました。国連の世界女性会議取材したり、海外の研究者にインタビューしたりすることもあり、折々に大学時代を思い出していました。

20年余りの新聞記者生活にピリオドを打ってからは、フリーランスのライターとして働いています。絵本の翻訳に取り組みつつ英米文学の講読の授業を思い出すこともあり、母校への感謝の念は年々深まる一方です。



デンマークで再生可能エネルギーの活用に取り組むハーマンセン氏と。同氏が登場する絵本『風の島へようこそ』（福音館書店）を翻訳した折にイベントで対談（2012年、東京・銀座の教文館で）

● 好きなことを仕事に

世界中からカナダに集まるワーキングホリデーの方の現地生活や就職支援を通して、彼らの夢の実現を応援しています。また、Life Vancouver（現地情報メディア）のライターとして情報を発信したり、現地企業のプロモーションをお手伝いしたりしています。Facebook（グループ名:Fun Canada）ではトロントとバンクーバーの情報（日・英）を発信しています。

今回でカナダに住むのは3度目です。1度目は西南学院大学の交換留学生として、2度目はワーキングホリデーで、トロントの旅行会社で働いていました。交換留学は、日本にとどまらず、日本と海外の懸け橋となる仕事をしたいと考えるきっかけを与えてくれました。日本や豪州で働いていたこともありますが、自身の社会での役割とやりたいことを追求して現在に至ります。現状になかなか満足できず常に悩んでいますが、母校で学んだことを胸に、目の前のチャンスを逃さず、日々精進していきたいと思っています。皆様のみますますのご活躍を心よりお祈りしております。



美しいバンクーバー



いまむら みほ
今村 美穂さん
(06期 文英)
カナダ
バンクーバー在住

● 日本において世界とつながる



さかもと なつこ
坂本 夏子さん
(83期 外英)
広島県在住

西南学院大学卒業後、二つ目の会社で勤続29年となりました。米国の自動車メーカーの日本法人で、今は人事部門の責任者です。学生時代は授業もクラブも英語漬け。それがずっと役立っているの、幸せですね。

仕事では日常的に海外や外国人との接点があり、日本にいても、いわゆる異文化経験は豊富です。結局、異文化とは一人ひとりのことであると日々、実感しています。例えば、年齢も性別も同じ似たような経歴の日本人同士であっても、二人いれば思考や行動のパターンが違い、異文化です。面倒くさかったり、対立

が起きたりすることもあります。その時、どうやって前進すればよいでしょうか？ これは人事という、人をテーマとした仕事での本質的課題の一つです。「相手を理解する」ことがカギだと思います。評価や判断をせず受け止め、関心を寄せて理解する。すると、お互いに次が見えてきます。

皆がそのように考えて行動すれば会社全体が元気になり、その人たちが一緒になって世界中の人々の役に立つモノやサービスを生み出すことができます。日本にいながら、そうやって世界とつながる仕事をしています。



アジアの同僚と

● 誰かの役に立ちたくて

在学中より勉強を始め、6年かかって司法試験に合格し弁護士になりました。後で知ったのですが、西南学院大学では初めての女性合格者だったそうです。

駆け出しのころに薬害肝炎訴訟の弁護団に加わり国を相手に裁判をしたり、その後は医療過誤の裁判などで経験を積みながら、普段は相続や家族の問題、消費者問題、借金問題など家事・民事事件を中心に活動しています。

プライベートでは保育園から高校生まで4人の子どもの母です。忙し過ぎて子どもの予定を忘れてしまうことや家の中が洗濯物であふれかえることもあります。周りの助けを借りながら騒がしくも楽しい日々を送っています。

昨年で自分の事務所を構えて10年となりました。一番の励みは依頼者の方から頂く「ありがとうございました」の一言です。仕事も子育ても次の10年が正念場と肝に銘じ、これからも少しでも誰かの役に立つ生き方をしていきたいと思っています。



はたえ あいこ
波多江 愛子さん
(93期 法法)
福岡市在住



趣味のランニング
(福岡市東区志賀島で)



OGの
各分野で活躍中の
の思い出や現在の
うかがいました

140人の同窓生が交流

本学初の女性学長による講演



新春のつどい

2015年1月24日に「新春のつどい2015」を開催しました。

西南クロスプラザ2階のレセプションホールは、来賓をはじめ約140人も同窓生が集い、満席状態に。

メーンの新春講話は、昨年12月に西南学院大学の女性学長に就任されたK・J・シャプナー教授による「西南100年、そして次の100年へ」と題した講演でした。1面の学長インタビュー記事にもありますように「画一のもので固められた『おにぎり』ではなく、華麗に変身し飛び立つ『チョコウ』になりましょう」というユニークなメッセージを述べられました。さらに、何事も、前向きに捉えることを「心を新たにすること」と表現され、常に成長していくことに挑戦し続ける学長の姿勢には大変刺激を受けました。

新春のつどい 2015

柔らかい表情の中にも、揺るぎない自分の軸を持たれている学長には、西南学院大学の学長としてだけでなく、これからの時代に活躍する女性のロールモデルとしてもますますのご活躍を期待したいと思います。



本田路津子さん

新春のつどいに花を添えるミニコンサートでは、歌手の本田路津子さんの透き通るような歌声が会場を包み込みました。本田さんのリードで参加者全員が歌った「二人の手」と、最後に合唱した讃美歌「われをもすくいし」の懐かしいメロディーと歌詞が、ふと学生時代に戻ったような温かい気持ちにさせてくれました。

天候にも恵まれ、素敵なお話となつた楽しい歌、そして参加者の方々の笑顔に囲まれた、活気ある2015年のスタートにふさわしいイベントとなりました。

2014年5月28日、大学キャリアセンター就職課と西南ゆりの会との共催でキャリア形成支援プログラム「なりたいたい女性、やりたい仕事」を西南クロスプラザ2階レセプションホールで開催しました。

豊原彩加さん（三菱東京UFJ銀行・11期法）、アンダーソン依里さん（太宰府天満宮文化研究所学芸員・95期 国際）、日高恵美子さん（会社社長・82期法）のトークと座談会に、約50名の

在学生のための就職支援イベント開催



在学生が参加。就職活動の体験談や仕事の苦労話、やりがいについてなど限られた時間でしたが、活発な意見交換が行われました。本年も5月25日（月）開催予定です。ひとりでも多くの女子学生の参加をお待ちしております。

第38回西南ゆりの会サロン

グローバル時代と女性の貢献 野田順康教授が講話

西南ゆりの会主催の第38回サロンを2014年10月25日、西南クロスプラザで開催。講師にお迎えしたのは野田順康西南学院大学法学部教授（前国連人間居住計画アジア太平洋地域本部長）で、野田教授は世界を舞台に活躍してきた経験を通して「グローバル化が進む中でますます女性の活躍が期待される時代になる」などと強調されました。

「グローバル化と女性の貢献」をテーマにした講話で野田教授は「これから女性



野田順康教授

性が活躍するためには、自己犠牲の労働環境ではなく、女性の寛容性などを生かして、家庭生活を重視した働き方が重要に

なる」と指摘。さらに日本では少子高齢化が深刻化しているが、世界的に見れば人口が急増している時代など紹介した上で「どのような職業に就いてもグローバル化は避けては通れない状況にあり、学生への教育を徹底している」と紹介されました。

講話後は、西南OGでつくる女性合唱団「西南プリエール」が、アヴェ・マリアなど美しい歌声で会場を魅了しました。お友達はもちろん、親子での参加などさまざまな世代が集まり、楽しい情報交換のひとつとなりました。



西南プリエールが美しい歌声を披露

新春のびびり2016

日時：2016年1月23日(土)
12時～14時

会場：西鉄グランドホテル
新春講話：G・W・パークレー

西南学院院长

百道会と合同で開催し、学院創立百周年の年の幕開けを祝います。西南学院コスベルクワイアの演奏も予定しています。

《G.W.パークレー
西南学院院长の略歴》



1955年、米国テネシー州生まれ。1984年、米国サザンバプテスト神学校大学院博士課程修了後、宣教師として来日。1987年より西南学院大学神学部で教鞭を執る。2006年～2014年学長。2012年に院長就任（～現在）。

第39回西南ゆりの会サロン

日時：2015年10月24日(土)
13時30分～15時30分

会場：西南クロスプラザ2階

演題：「これであなとも」

西南学院通に！(仮題)
西南学院院长 高良研一氏

《高良研一氏の略歴》



1949年、熊本県生まれ。1973年、武威工業大学(現、東京都市大学)卒業後、キャセイパシフィック航空会社に入社。グローバル競争の激しい航空業界での32年間の経験を経た後、2007年から西南学院へ。

6月12日西南ゆりの会総会

2015年6月12日(金) 17時30分から、ホテル日航福岡(福岡市博多区博多駅前2-18-25)で総会を開催します。

総会終了後の18時30分からは、同ホテルで大学同窓会定期総会・懇親会もあります。多くの卒業生が集い・交流する場になりますよう、一人でも多くの女子卒業生の参加をお待ちしております。

5月25日キャリア支援イベント

西南ゆりの会と西南学院大学キャリアセンターとの共催行事。2015年5月25日(月) 16時30分～18時10分、西南クロスプラザ2階レセプションホールで開催。全学生を対象に、先輩からのメッセージと茶話会で在学生にエールを送ります。

詳しい内容は、決まり次第、西南ゆりの会ホームページでご案内いたします。

9月26日に

第10回ホームカミングデー

西南学院大学は毎年、卒業生をキャンパスに迎え、懐かしい仲間と再会し、交流・親睦を深めてもらうため「ホームカミングデー」を開催しています。

対象は卒業後、10、20、30、40、50、60年目の方々です。今年は05、95、85、75、65、55期の皆さんです。

進化し続ける母校をご覧いただくよい機会です。ふるってご参加ください(参加は無料です)。

◎問い合わせ先

西南学院大学 広報課
TEL: 092-833-3248
E-mail: koho@seinan-gu.ac.jp

2016年、西南学院は創立100周年を迎えます

西南ゆりの会も発足30周年を迎えます

西南学院が創立100周年を迎える2016年は、西南ゆりの会の発足30周年でもあります。この30年間で女性の社会進出は目覚しく、約3万6000人の女子同窓生も国内外の各界各層で活躍しています。大学生生活を西南学院で過ごしたことは私たちの誇りであり自信となっています。この大きな節目にあたり、女子同窓生全員の感謝の気持ちを表すことにしました。

そのひとつとして大学東キャンパスにある大学博物館前の花壇の整備に取り組んでいます。毎週一回、手入れをし創立100周年記念式典が開催される2016年5月14日には白ユリでいっぱいになりたいと考えています。花壇整備に必要な費用は、河野勤氏(1932年卒)から西南ゆりの会にいただいた「河野基金」などでまかなっています。

もうひとつは、2017年に大学中央キャンパスに完成する7階建ての新図書館にステンドグラスを贈ります。正面玄関近くの目立つ位置に設置される予定で、白ユリをモチーフにしたデザインを現在検討中です。



新図書館イメージ



ゆり花壇

深まる女子同窓生の輪

●東京支部 (2014年11月22日)



昨年(第34回)総会懇親会には、10期以降の卒業生も多数参加。若手の席には女性が多いテーブルが目立ちました。日頃自分が利用している空港で奮闘されているOGや、取引先企業勤務の方など、意外とどこかですれ違っているかもという程、各所で皆さん活躍しています。今後は卒業年次を超え交流が出来れば良いと思った次第でした。

吉野 菜穂子 (99期 法法)

●糸島西南会 (2014年11月15日)

私たち糸島西南会は、毎年11月に総会・懇親会を開き、諸先輩方との親睦を深めています。

そして昨年2014年2月、西南中・高・大学卒の月形祐二氏(82期)糸島市長就任を機に、糸島西南会は今までに増して結束が強まっています。女性メンバーはまだまだ少ないですが、月



形市長のリーダーシップのもと、「若手女子」を巻き込んで、楽しく活動していきたいと思っています。

三嶋 直子 (00期 国際)

●熊本県支部 (2014年11月14日)

熊本県支部の事務局をお引き受けしてから年に一回の総会と会報誌を発行し15号を迎えました。夫(大学同期)と共に15年間で、熊本での支部活動を続けてきて、その間にたくさんのお窓生との出会いと交流が生まれたことが何よりの喜びです。



全員が輪になって

熊本県支部のお窓会は、毎年和やかな雰囲気です。中でも毎回お楽しみ抽選会は全員で輪になって盛り上げられます。

古崎 喜代子 (79期 商経)

●北九州支部 (2015年2月7日)



全員で大合唱

北九州支部総会には、就任されたばかりのK・J・シャフナー学長にご出席いただき、嬉しい総会となりました。ただ残念なことに参加者129名中、女性の数は4名でした。現在の学内の女子学生の割合が半分を超えている中、これからは母校との繋がりを深めてもらうためにも、多くの女性の参加を呼びかけていきたいです。

塩田 英子 (78期 商簡)

●広島支部 (2014年11月18日)



大先輩のお二人

女性の出席は幼児教育の普及に長らく貢献された松原多恵子さん(55期 短児)と森涼子さん(56期 短児)の大先輩お二人。

松原さんは、幼児教育関連の著書の執筆や講演活動など、森さんも保育園理事や音楽活動などで多方面でご活躍中です。松原さんの息子さん手作りの酒と森さんの美声に酔いしれました。これぞ「西南スピリット」ともいべきお二人にお会いでき、感動で胸が熱くなるひとときでした。

高山 和代 (68期 短児)
松永 恵子 (72期 短児)

●久留米支部 (2014年10月31日)

久留米支部総会は、榎原利則久留米市長(71期)と末吉紀雄福岡商工会議所会頭(67期)の豪華対談で幕を開けました。久留米や福岡の可能性を熱く語るお二人に、会場を埋めた約1000名の参加者のうなずき姿がみられました。そのうち女性は約10名でしたので、今後は女子同窓生とのつながりを一層深めていくことが必要だと感じました。

古賀 敦子 (80期 外英)
山田 啓子 (85期 児教)

●佐賀県支部 (2014年11月21日)

グラウンデはぐくれの広間は140名の同窓生で満杯でした。佐賀工業高校野球部吉丸信監督(77期 商経卒。過去唐津西、佐賀東を計3回甲子園出場させた名将)の、昨年惜しくも決勝戦延長で夏の甲子園出場を逃した悔しさあふれる乾杯の音頭で、会場は一気に盛り上がり拍手喝采。

女性は25名ほど、職場から先輩と参加の若手女子や、毎年楽しみに参加しているという年配の6人グループなど支部の歴史を感じました。残念ながら女子同窓会の活動を知らない方もいて、知名度アップに努めていきたいと思いました。

中野 和子 (70期 外英)
塚田 恵美子 (90期 国際)

2013年度 西南ゆりの会事業報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)

1 第37回西南ゆりの会サロン

日時 2013年5月25日(土)

会場 西南クロスプラザ2階

◆第一部

講師 富重順子さん
(51期 旧制専門学校英文科)
寺嶋佳都子さん(同)

テーマ 「草創期の先輩に伺う『あの頃の西南』」

◆第二部

講師 後藤新治さん
(西南学院大学国際文化学部教授)

テーマ 「ドージャー記念館(大学博物館)とヴォーリーズ」

2 西南ゆりの会総会

日時 2013年6月14日(金)

会場 ホテル日航福岡

3 第7回就職支援講座(キャリア支援講座)

日時 2013年10月23日(水)

会場 西南クロスプラザ2階

テーマ 「なりたい女性、やりたい仕事」

4 2014新春のつどい

日時 2014年1月25日(土)

会場 西南クロスプラザ2階

講話 山崎建典福岡県副知事(73期法)
「県民幸福度日本一の福岡県を目指して」

5 機関誌「白ゆり」第20号発行

6 大学構内聖書植物園ボランティアに参加

7 サラマッポ会への援助

(フィリピンの女子大学生1人に奨学金供与)

2013年度 西南ゆりの会決算報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)

《収入の部》

(単位:円)

項目	予算額	決算額	差引増減	備考
繰越金	140,081	140,081	0	前年度よりの繰越
同窓会補助金	500,000	500,000	0	大学同窓会よりの補助金
講演会費	360,000	394,000	34,000	新春のつどい会費等
西南ゆりの会サロン費	100,000	87,000	△13,000	西南ゆりの会サロン会費等
カンパ積立金取崩し	150,000	150,000	0	カンパ金の一部
雑収入	150,000	150,015	15	機関誌「白ゆり」の広告費等
収入の部合計	1,400,081	1,421,096	21,015	

《支出の部》

(単位:円)

項目	予算額	決算額	差引増減	備考
講演会費	520,000	448,825	△71,175	女子在学生就職支援講座及び新春のつどい開催費
西南ゆりの会サロン費	140,000	116,950	△23,050	西南ゆりの会サロン開催費
印刷費	420,000	369,500	△50,500	機関誌「白ゆり」20号制作費等
会議費	160,000	143,315	△16,685	役員会開催費
通信費	30,000	24,960	△5,040	来賓、職域等への案内状送付費用等
慶弔費	60,000	73,000	13,000	他大学イベントへの出席費等
寄付金	50,000	50,000	0	サラマッポ会への寄付金
雑費	20,081	14,289	△5,792	事務用品等
支出の部合計	1,400,081	1,240,839	△159,242	
繰越金	0	180,257	180,257	2014年度会計への繰越金
合計	1,400,081	1,421,096	21,015	

会長随想

語り継ぐ100周年に向けて

西南ゆりの会会長 藤井千佐子(外仏73期)

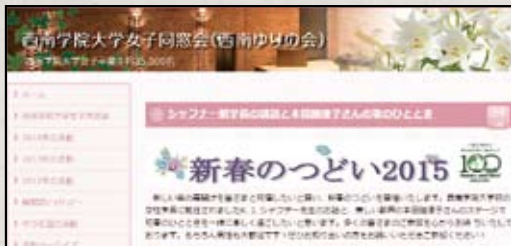
1面で紹介したK・J・シャフナー学長のインタビューをしたときのこと。「これはお話しするつもりはなかったのですが」と前置きして話された内容に深く考えさせられました。西南学院大学に赴任する前、東京で日本語を学んでいた学長を訪ねてご両親が来日されたときのこと。「一緒に行った教会で、ふと気がつくとうちが父が見知らぬ日本人の男性と抱き合っただけで泣いて流していたのです。父と同年輩のその男性は『初めて敵と祈った』と。その時、私は父が沖繩戦を戦ったことを初めて知りました」と驚かれたそうです。

今年には戦後70年。西南学院にも戦時中に悲しい出来事があったことを2013年6月に実施された「西南学院学徒出陣戦没者追悼記念式」で知りました。多くの先輩たちが、戦場で若い命を散らしていたのです。こういう悲しい出来事があったことをまず知り、記憶し、語り継いでいくことが平和への礎になるのだという思いを強くしました。シャフナー学長は「その教会での出来事で、父にとつてやつと戦争が終わったのだと思います。それから父は多くの日本人と友達になりました」と話されました。娘が日本で働くことに大きな葛藤があったであろう父。その父の思いを受け止めて西南学院大学で長年、日本の学生たちに向き合っただけでなかったシャフナー学長の覚悟のようなものを感じました。

◇ 1年後に迫った西南学院創立100周年は、こういった事実も含めてこれまでの学院の歴史を振り返り、新たな100年に向けた一歩を踏み出す大きな節目です。それは同窓会活動も同じだと思います。そこで、この機関誌「白ゆり22号」に挟んだアンケートに用紙にぜひ、ご記入をお願いします。皆様一人ひとりの思いを女子同窓会活動に生かしていきたいと考えております。

ホームページや Facebook でも交流を深めましょう

西南学院大学女子同窓会（西南ゆりの会）
ホームページができました



アドレスはこちらです。
<http://www.seinan-yurinokai.jp/>
 イベントのご案内や、これまでの活動報告、機関紙「白ゆり」のバックナンバーをご覧ください。
 是非あなたの「お気に入り」に登録してください。

西南ゆりの会 Facebook ページに
「いいね！」を



「西南学院大学女子同窓会」で検索するとトップ
に出てきます。
<https://www.facebook.com/yurinokai.seinan>

* 編集後記

巻頭特集で、就任されたばかりのシャプナー学長の声をお届けすることができました。来年2016年は西南学院創立100周年であり、西南ゆりの会の発足30周年にもあたります。今回はアンケート用紙を入れております。約3万6000人にのぼる女子同窓生のネットワークをよりいっそう広げ、交流を活発にしていけるために、みなさまのご意見をぜひともお寄せください。

(植村康子 92期 国際)

西南学院大学 FB グループも 活発に交流しています

現在メンバー 2100 人を超え、現役を含む同窓生が FB 上で交流をしています。春と秋の年 2 回開催される「オフ会」には海外からも参加者が。100 周年に向けてますます盛り上がっています。地域、世代を超えた同窓生の参加、お待ちしております。アドレスはこちらです。
<https://www.facebook.com/groups/seinan/>
 ※非公開グループにつき、新規参加を希望される方は、既に参加されている同窓生から「招待」してもらるか、基本データから「西南」と判断できるようにしてください。



2014年10月オフ会
(福岡市)



Campus Support
SEINAN

西南ゆりの会を応援しています。

(株)キャンパスサポート西南は、学校法人西南学院全額出資の収益事業法人です。当社の社員の9割以上は西南学院出身のOB・OGで構成されています。

ゴスペルで創立100周年を祝おう!!

西南学院ゴスペルクワイア 第2期メンバー募集中!

(西南学院OB・OGであれば、どなたでも可)

- 会 場：大学5号館106教室
- 会 費：3,000円/月
- 練習日：(第2期)第2・4水曜日
(第1期)第2・4木曜日
- 時 間：19:00~20:30

2014年度は6月、9月、12月、2月に2回と年間5回のステージ公演を行いました。無料体験レッスンを練習日に随時行っていますので、お気軽にお問い合わせください。



2014年12月 西南学院クリスマスライブ

同窓生限定プライダル

(博物館講堂(旧中高チャペル)にての結婚式)

卒業生の就職支援・アルバイト紹介

(大学内パソコン貸出アルバイト等)

一般労働者派遣 印刷全般 等

(学校事務、一般事務等) (ポスター、チラシ、名刺、年賀状等)

西南学院ならではの語学力

英語 ↔ 日本語の翻訳サービス バイリンガルなスタッフだからこそ 迅速かつ適切

- ・日本語と英語の両言語を母国語とするスタッフを揃えていますので、ニュアンスなどのあいまいな表現を的確に翻訳いたします。
- ・翻訳以外でも、**通訳、語学研修、国際交流企画**といった英語と日本語を繋ぐサービスも承っています。
- ・お電話、メールにてお気軽にお問い合わせください。



学校法人 西南学院グループ

株式会社 キャンパスサポート西南

福岡市早良区百道1丁目14-29 TEL.092-823-3576 FAX.092-823-3590
 URL <http://www.cs-seinan.co.jp>